

平成 30 年 7 月 25 日

川口幼稚園
園長 峯岸 正教 殿

川口幼稚園
教頭 百澤 麻子

平成 29 年度 川口幼稚園 自己評価報告書

別添の通り、「平成 29 年度川口幼稚園自己評価報告書」をここに提出いたします。

以上

平成 29 年度 川口幼稚園 自己評価報告書

1. 園の教育目標

川口幼稚園の建学の理念は、「真に健全で調和的人格の樹立をめざし、きめ細かな教育計画のもと、個性尊重と自主性の促進につとめ、幼児に最も大切な「しつけ」を重視し、豊かな情操と逞しい創造力を培い、いかなる困難にもくじけぬ実践力と健全な身体をもって自学自律出来る人格の育成を旨として創立された」のである。

この理念達成のために、次の教育目標を掲げている。

- (1) 調和的人格の育成
- (2) 健全な心身の育成
- (3) 保育の資質向上
- (4) 個性尊重と自主性の促進

2. 具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教員自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善、施設の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果	結果の理由
(1) 教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	A	全体の職員会議等で共通理解をし、更に日々学年会を重ね子どもの実態を把握した上で子どもに合った取組みをした。そして学年、クラスに適した内容になるように工夫した。
(2) 子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	B	子ども一人ひとりの性質を理解し、更に課題探求を行った。個人差については職員間で対応を考えながら、指導・実践を心掛ける様にした。
(3) 学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	B	学年別に学期毎の成果や課題を報告、確認し学期の目標に対しての工夫をし、共通認識を持って取組んだ。また、活動や行事の際には反省や改善点を挙げる等、より良い保育を目指すために報告しあった。
(4) あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	B	クラス・学年の枠にとらわれず、かかわり合う機会がある。その中で相手の気持ちを考えたり、寄り沿ったりと友達との関わりを大切にできるように教員が配慮した。また、その中で遊びが発展するよう促した。
(5) 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う	A	全職員が共通理解をし、1年間を通して基本的な生活習慣が身につくよう目標を立て取組んだ。その際、年齢にあった設定をして獲得に向けて促した。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	教職員が理解した上で取組んでいる様子が見られた。また、前年度の反省を見返して改善にも取組んでいた。施設の改善についてはその都度報告し合い、子どもが安全に過ごせるよう整備に努めほぼ達成されている状況である。

○結果について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
情報公開方法	在園児の保護者だけでなく、一般の方にも園での活動を知っていただくための主な行事はホームページ上に写真つきで載せる。
避難訓練	地震・火災だけでなく、不審者や他の自然災害に対する避難方法を園児に周知し実施する。